


監 査 報 告 書

平成25年5月20日

飯綱町社会福祉協議会
会 長 井 澤 一 夫 様

監 事 吉 澤 君 夫 

監 事 大 川 説 夫 

平成24年度飯綱町社会福祉協議会決算監査の結果を下記のとおり報告する。
記

1. 監査の対象

平成24年度飯綱町社会福祉協議会一般会計決算
長野県共同募金会飯綱町支会決算
日本赤十字社飯綱町分区決算

2. 監査の書類

一般会計 : 仕訳日記帳、総勘定元帳、事業収支計算書、貸借対照表、証憑書類、預金通帳、備品台帳、事業の利用状況、財産目録等
その他会計 : 証憑書類、預金通帳

3. 監査の期日及び場所

平成25年5月17日(金)
デイサービスセンター「ふれあいの園」2階会議室

監査の意見

- 1) 各会計について、予算の執行状況並びに財産の管理状況につき関係書類及び証憑書類を精査した結果、収入支出とも誤りはなく適正に処理され、目的に従って健全に運用されていることを認めます。
- 2) 社協強化発展計画、地域福祉活動計画が策定されました。地域の多様なニーズに対し、公共性の高い社会福祉協議会が創意工夫を凝らし住民の求めに応えられる独自の事業に取り組まれることを期待いたします。
- 3) 介護保険事業は、23年度に引き続き赤字となり経営は極めて厳しい状況であります。利用者の減少、介護保険制度改正により報酬が当初見込んだ額に達しなかったことが主な原因であります。赤字額が大きいだけに組織等の合理化に向け早急な対応が必要と思われれます。
特にグループホームわが家については、新築初年度であり、備品整備等に大きく費用を要し、入居定員に達するまで時間がかかり収入が上がらず赤字なってしまったことは考慮できるとしても、今後の経営が厳しいことには変わりがありません。認知症支援の拠点として安定経営に向けた職員の育成と配置を進めていただきたい。